

瀬戸毘沙門

18号

No.18号平成16年12月

岡山県赤磐郡瀬戸町瀬戸

TEL 0869-52-3435

ホームページ

<http://homepage3.nifty.com/setobisyamonten/>



長島 天洋管主

今年を振り返って

一年があつという間に過ぎました。一昨年から取り組んできましたマニラのストリートチルドレン支援の加藤登紀子さんのコンサート。息切れがして、新たなメンバー探しから始まりました。ある人がなっても良いと言う方が現れました。しかし、九分九厘、呆かと思っていました。最終的には断れました。それなら長島がやるしかない、と、私自身決行に決意しました。

まず、シンホニーホールの予約から始まりました。そして、毎月一回のプロデュサー会議。中野、七瀬、八幡、長島のメンバーで企画を練りました。そこで、見えてきたのが「子供が主役」ということです。「シンギングエンジェルコーラス隊」を作ろうということになりました。八月コーラス隊員の募集。九月、オーディション。

四十数名の申し込み。その中から三十二名のコーラス隊。九月から東京在住の平田先生に來岡していただき練習がはまりました。

事務局を担当する、大村祐香、国富悟、赤木、八幡の面々は大変な苦勞でした。子供達を送り迎えする家族。場所を提供してくださった「岡山国際ホテル」などのご協力が実った。当日のコンサートを迎えました。マニラに二回も指導に行っていた平田先生。ほんとうにありがとうございました。

これからも未来に向けて「シンギング・エンジェル・プロジェクト」は前進します。ご協力下さい。特に現在の世相は考えられない状況です。私たちは一点の灯火をささげる覚悟で頑張りたいと思います。



路上生活、虐待…比の子どもも支えよう

うと、チャリティーコンサート「いのちの讃歌」が五日、岡山市表町、岡山シンフォニーホールで開かれた。シンガーソングライター加藤登紀子さんと、マニラの保護施設の子どもたち総勢百七十人が心を一つに熱唱。約千五百人の聴衆に協力を呼び掛けた。

響く「いのちの讃歌」

岡山でチャリティーコンサート
加藤登紀子さん 児童と熱唱



路上生活や虐待に苦しむフィリピン人のストリートチルドレンを支援しよう

加藤登紀子さん（中央）を囲み熱唱する子どもたち

同コンサートは、市民団体「シンギング・エンジェル・プロジェクト」（SAP、事務局・岡山県瀬戸町）が二〇〇二年から行っており、三回目。今回はマニラの保護施設「カンランガン・サ・エルマ」から招いた十一人のほか、オーディションを経た三十三人の専属コーラスチーム、県内の児童・生徒らがステージに立ち、歌を響かせた。グラウンドフィナーレで

は、加藤さんがマニラを訪れている会社員多田信二に立ちたくなると感激した。岡山の子どもたち全員と「子どもたち」の歌声。収益は全額、カンランガン・サ・エルマに寄付された。愛・Loveの愛情を見ていると涙腺が、サ・エルマに寄付された。毎年一分なりにできること、役

初詣は瀬戸毘沙門

天王

三十一日除夜の鐘

一日、二日、三日